

## 2 成人・老人保健

### (1) 成人及び老人保健事業の概要

本市では健康増進法に基づき、健康診査、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診（節目検診）、健康相談、健康教育、訪問指導事業、各種がん検診等を実施している。各すこやか相談所と各市民センターにおける健康相談や地域の健康教育の充実により、健康に対する意識の高揚を図っている。

健康診査については、平成20年度より、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健診・特定保健指導及び後期高齢者健康診査を実施している。

がん検診は、平成20年度には健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ、地方交付税により財源措置されている。これに上乗せする形で実施する国の政策に基づき、これまで受診機会のなかった方に定期的に受診を促すため、乳がん検診・子宮頸がん検診については平成21年度より、大腸がん検診については平成23年度より、節目年齢を対象に無料クーポン券及び検診手帳を送付している。また、肝炎ウイルス検査についても平成23年度より個別受診勧奨無料受診券を送付している。更に、胃がん検診の受診率の低迷が続いているため、平成24年度から補助的に胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

### (2) 健康手帳の交付

健康手帳は、健(検)診の記録、保健指導等の記録、その他健康保持のための必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療を受けるのに役立つため、40歳以上の人に対して交付するもので、検診の受診及び健康相談等の保健事業への参加時に希望者に交付している。

(単位：人)

区 分	総数	30代	40代	50代	60代	70代以上
総数	865	7	145	107	329	277
胃がん検診	596	3	131	64	224	174
乳がん検診	-	-	-	-	-	-
健康教育・健康相談	269	4	14	43	105	103

### (3) 健康教育

#### ① 地域における健康教育

生活習慣病の予防及び介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、個々人が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に健康教育を実施している。

本事業は健康増進法に基づき、生活習慣病予防・歯周疾患・骨粗鬆症予防・がん予防・病態別・介護家族健康教育などの内容で実施している。

講師は、医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、栄養士、理学療法士、運動指導員、保健師等であり、学区担当保健師が、テーマや対象者にあった内容を企画し、講師を選定している。

実施場所及び日時については、学区担当保健師の企画、または各学区の地域組織及び各種団体の依頼に応じて決定し、各市民センターや地域自治会館等で実施している。

健康教育実施状況

(単位：回、人)

区 分	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	地域づくり活動	口腔予防	女性の健康	他の疾病予防	総計
開催回数	16	17	13	21	12	30	1	3	3	5	121
参加延人数	354	179	145	266	293	272	10	62	61	279	1,921
従事者延人員	医師	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	保健師	41	29	30	22	20	70	1	3	3	225
	栄養士	2	-	2	27	-	7	-	-	-	39
	運動指導員	11	14	7	2	-	14	-	-	-	48
	理学療法士等	11	1	-	-	-	-	-	-	-	12
	歯科衛生士	-	-	-	2	2	-	-	2	-	6
	その他	8	4	1	3	2	3	-	-	-	21
	総計	73	48	42	56	24	94	1	5	3	7

② 喫煙者個別健康教育

喫煙は、様々な生活習慣病悪化の危険因子である。喫煙者個別健康教育は、禁煙を希望する市民に、継続的に禁煙に必要な知識と技術を個別に提供することにより禁煙を支援し、喫煙に伴う生活習慣病の予防を目的とし、平成16年度から実施している。対象は、40歳以上65歳未満で禁煙を希望している市民としているが、対象年齢外であっても希望者には実施している。

実施場所は、総合保健センターまたは市内7か所のすこやか相談所で、通年実施しており、支援期間は禁煙開始後3か月としている。参加費無料。

初回は、担当保健師が、個人面接により質問表を用いて対象者の喫煙状況を把握するとともに、呼気中一酸化炭素濃度の測定を実施する。測定結果と教材を用いて禁煙に必要な知識・技術を提供し、禁煙開始日を設定する。初回指導後のフォローとしては、原則禁煙開始日の前後及び禁煙開始後1か月ごとに3か月までとし、面接または電話により禁煙の開始や継続に必要な指導を実施している。

喫煙者個別健康教育実施状況

(単位：人)

区 分	男性					女性					合計
	40歳未満	40代	50代	60代	70歳以上	40歳未満	40代	50代	60代	70歳以上	
申し込み者総数	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2
禁煙を開始しなかった人	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
禁煙開始後再喫煙した人	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
ニコチンパッチ使用者(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニコチンガム使用者(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3か月間禁煙できた人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニコチンパッチ使用者(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニコチンガム使用者(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 健康相談

高齢社会の進行、生活習慣病の増加に備え、疾病の予防・健康の保持増進のために、健康相談事業を実施し、個人及びその家族を対象に健康に関する不安や悩みについての相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、健康で明るい生活が営めるよう援助している。

実施方法としては、各すこやか相談所健康相談室、市民センターにおける定例健康相談、各学区老人クラブの定例健康相談、その他の地域からの要請によるものである。

内容としては、疾病予防、健康の保持増進、寝たきり高齢者、認知症高齢者の介護相談、家族の介護を行う者の心身の健康に関する相談、血圧測定・検尿に基づく保健指導、妊婦及び育児相談などである。

(単位：件、人)

相談方法	相談会場	相談件数													相談延人数					実施回数			
		母子					成人重点			成人一般			精神		合	母	成人				精	合	
		乳	幼	妊	思	合	6	6	合	6	6	合	電	メ			合	一	介				合
児	児	産	春	計	4	5	計	4	5	計	話	ール	計	般	護	計	神	計					
来所相談	和	313	264	8	1	586	-	2	2	13	11	24	75	14	89	701	337	24	2	26	89	452	244
	堅	700	399	7	2	1,108	23	30	53	9	3	12	133	4	137	1,310	952	42	23	65	136	1,153	244
	比	308	145	1	-	454	6	2	8	6	3	9	3	3	6	477	322	17	-	17	6	345	244
	中	440	202	6	1	649	4	1	5	3	6	9	87	9	96	759	438	13	1	14	85	537	244
	勝	485	235	1	-	721	-	1	1	3	19	22	2	11	13	757	471	22	1	23	11	505	244
	南	258	274	3	-	535	3	10	13	-	9	9	8	6	14	571	348	20	1	21	14	383	244
	か	1,341	884	13	5	2,243	8	3	11	10	10	20	34	54	88	2,362	1,244	28	2	30	75	1,349	244
	学	1,615	1,035	4	-	2,654	40	145	185	53	182	235	-	9	9	3,083	1,395	380	3	383	9	1,787	282
	老	-	-	-	-	-	-	115	115	-	88	88	-	-	-	203	-	203	-	203	-	203	22
	そ	251	325	-	-	576	11	169	180	50	330	380	-	-	-	1,136	512	555	-	555	-	1,067	58
小	計	5,711	3,763	43	9	9,526	95	478	573	147	661	808	342	110	452	11,359	6,019	1,304	33	1,337	425	7,781	2,070
相談方法	相談会場	相談件数													相談延人数					実施回数			
		母子					成人重点			成人一般			精神		合	母	成人				精	合	
		乳	幼	妊	思	合	6	6	合	6	6	合	電	メ			合	一	介				合
児	児	産	春	計	4	5	計	4	5	計	話	ール	計	般	護	計	神	計					
電話相談	和	34	22	8	-	64	2	-	2	9	6	15	83	-	83	164	52	15	2	17	83	152	244
	堅	126	103	32	5	266	5	1	6	13	18	31	63	-	63	366	260	30	7	37	63	360	244
	比	77	68	19	-	164	4	1	5	4	5	9	106	-	106	284	140	13	1	14	91	245	244
	中	76	24	20	1	121	6	2	8	2	4	6	57	-	57	192	99	10	4	14	55	168	244
	勝	82	59	11	1	153	2	1	3	4	5	9	76	-	76	241	116	12	-	12	58	186	244
	南	89	67	7	4	167	5	6	11	2	-	2	181	3	184	364	143	10	-	10	182	335	244
	か	499	310	24	3	836	8	3	11	8	1	9	153	91	244	1,100	642	19	1	20	224	886	244
	学	983	653	121	14	1,771	32	14	46	42	39	81	719	94	813	2,711	1,452	109	15	124	756	2,332	1,708
	小	計	6,694	4,416	164	23	11,297	127	492	619	189	700	889	1,265	14,070	7,471	1,413	48	1,461	1,181	10,113	3,778	

(5) 健康診査

平成 18 年 6 月成立の「健康保険法等の一部を改正する法律」において「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正された。これまで市が主体となって 40 歳以上の市民を対象に行ってきた基本健康診査は、平成 20 年度から生活習慣病予防の徹底を図るための「特定健診・特定保健指導」となり、各医療保険者に実施の義務が課せられた。

① 特定健康診査・保健指導

内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行い、糖尿病等の有病者・予備群を減少させることを目的とする。

1) 特定健康診査

- 対象者 40 歳から 74 歳までの大津市国民健康保険被保険者
- 実施場所 県内登録医療機関において実施
- 実施期間 平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日まで
- 健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）  
詳細項目（心電図、眼底、貧血）※詳細項目は該当者のみ実施  
追加項目（血液検査、尿検査）

2) 保健指導

- 対象者 特定健康診査を受診し、一定の基準を満たしたものの

実施場所等

動機付け支援 県内登録医療機関及び事業者委託により市民センター等で実施

積極的支援 県内登録医療機関及び事業者委託により市民センター等で実施

自己負担金 無料

特定健康診査・保健指導

(単位：人)

年度	対象者	受診者数	受診率	受診結果・[利用者数]		
				積極的支援	動機付け支援	情報提供
25	53,141	19,329	36.4%	497 [22]	1,648 [31]	17,190

平成26年4月1日現在法定報告数値

3) 健康診査

目的 糖尿病等の生活習慣病の早期発見を目的とする。

対象者 75歳以上の滋賀県後期高齢者医療制度被保険者（65歳以上で一定の障害をもつていて、後期高齢者医療制度被保険者含む）

実施場所 県内登録医療機関にて実施

実施期間 平成25年7月1日から平成26年1月31日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

自己負担金 無料

健康診査受診者数

(単位：人)

年度	対象者※	受診者数※	受診率	受診結果（対受診者数）			
				75歳未満	75～79歳	80～84歳	85歳以上
25	33,396	9,895	29.6%	81	4,255	3,351	2,208

※平成26年3月受付分まで

4) 大津市基本健康診査

目的 内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行い、糖尿病等の有病者・予備群を減少させることを目的とする。

対象者 大津市内に居住する40歳以上の大津市生活保護受給者または、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援受給者

実施期間 平成25年7月1日から平成26年1月31日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

詳細項目（心電図、眼底、貧血）※詳細項目は該当者のみ実施

追加項目（血液検査、尿検査）※該当者のみ実施

保健指導（動機付け支援、積極的支援）※該当者のみ実施

自己負担金 無料

基本健康診査受診者数

(単位：人)

年度	対象者	受診者数	受診率	受診結果（対受診者数）				
				40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳以上
25	2,881	413	14.3%	63	52	123	61	114

② 肝炎ウイルス検査

肝炎は、潜伏期間が長く、感染者も感染していることを自覚していない人が多く、感染者の中から肝硬変や肝がんに移行する危険性もある。肝炎ウイルス検査は、肝炎感染者を早期に発見し肝炎による健康障害を回避するため、早期治療につなげることで症状を軽減し、進行を遅延させることを目的に老人保健法に基づき、生活習慣病健診と同時受診で平成14年度から実施している。

平成 20 年度からは健康増進法に基づき実施している。

また、平成 23 年度から国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、個別受診勧奨を実施し 40 歳～60 歳の 5 歳刻みの節目年齢者に無料受診券を送付し、受診促進を図っている。

実施方法としては、肝炎ウイルス検査実施登録医療機関に委託している。対象は、市内に居住する 40 歳以上（年度年齢）の者で、

- 1) 過去に肝炎ウイルス検査を受診したことがない者
- 2) 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断（以下「特定健診等」という）の結果において肝機能検査の数値のうち、いずれか 1 つでも「保健指導判定値（GOT 31～50IU/l、GPT 31～50IU/l、γ-GTP 51～100IU/l）」であった者である。

検査料金は、1,000 円（ただし、70 歳以上の人、生活保護世帯等または市民税非課税世帯、大津市国民健康保険被保険者は無料）。

### 受診者区分別・年齢別受診数

（単位：人）

区 分		40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	合計
総数	男	350	285	264	249	365	94	113	1,720
	女	681	429	387	372	401	70	127	2,467
	計	1,031	714	651	621	766	164	240	4,187
同時実施 ※	男	88	64	55	41	102	84	74	508
	女	187	95	99	110	164	57	106	818
	計	275	159	154	151	266	141	180	1,326
単独実施	男	262	221	209	208	263	10	39	1,212
	女	494	334	288	262	237	13	21	1,649
	計	756	555	497	470	500	23	60	2,861
外科的処置・多 量出血がある者 (再掲)	男	20	19	27	18	49	13	31	177
	女	121	58	72	87	81	20	47	486
	計	141	77	99	105	130	33	78	663
肝機能異常 指摘者 (再掲)	男	25	21	25	32	38	11	18	170
	女	12	21	16	18	30	6	10	113
	計	37	42	41	50	68	17	28	283

※特定健診と同時に肝炎ウイルス検査を受診。

### 受診者区分別 B 型肝炎ウイルス検査結果

（単位：人）

結果 性別	陽性			陰性			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
総数	8	9	17	1,712	2,458	4,170	4,187
同時実施	3	5	8	505	813	1,318	1,326
単独実施	5	4	9	1,207	1,645	2,852	2,861
外科的処置・ 多量出血がある者 (再掲)	-	2	2	177	484	661	663
肝機能異常指摘者 (再掲)	2	1	3	168	112	280	283

### 受診者区分別 C 型肝炎ウイルス検査結果

（単位：人）

結果	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」						「現在、C型肝炎ウイルスに感染していない可能性が高い」						合計
	判定理由①			判定理由②			判定理由③			判定理由④			
性別	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
総数	7	6	13	-	-	-	5	9	14	1,708	2,452	4,160	4,187
同時実施	3	1	4	-	-	-	4	5	9	501	812	1,313	1,326
単独実施	4	5	9	-	-	-	1	4	5	1,207	1,640	2,847	2,861
外科的処置・ 多量出血がある者 (再掲)	2	4	6	-	-	-	-	4	4	175	478	653	663
肝機能異常 指摘者 (再掲)	3	3	6	-	-	-	4	4	8	163	106	269	283

### ③ 胃がん検診

胃がんはがんの中でも多くみられるため、これを早期に発見し治療に結びつけることが、がん予防対策上重要な課題である。そこで、本市では、大津市消化器がん検診協議会を設置して検診の精度管理を行いながら、胃がん検診を実施している。市保有の検診車の廃車に伴い平成8年度から撮影のみ業者委託で実施している。実施方法は、検診車（業者委託）により各学区を巡回し、市民センター等で午前中に実施している。

検診料金は1,000円（ただし、70歳以上の人、生活保護世帯等または市民税非課税世帯、その他特に市長が必要と認めた人、大津市国民健康保険被保険者は無料）。

#### 実施結果

（単位：人）

一 次 検 診					
区分	対象者	受診者	異常なし	有所見	要精検
地域巡回	100,408	1,895	789	957	149

（単位：人・％）

精 密 検 査							
区分	精検対象者	精検受診者	胃がん (再掲早期)	その他	異常なし	未受診者	がん発見率
地域巡回	149	132	6 (5)	114	12	17	0.32

#### 年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(平成26年5月31日現在)

（単位：人・％）

区 分	総数	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女
対象者	100,408	4,869	10,044	2,517	8,148	10,180	16,876	19,107	28,667
受診者総数	1,895	71	223	56	161	266	425	370	323
受診率	1.9	1.5	2.2	2.2	2.0	2.6	2.5	1.9	1.1
異常なし	789	53	148	32	81	115	169	103	88
有所見者数	957	15	70	20	72	124	228	213	215
要精検者数	149	3	5	4	8	27	28	54	20
要精検率	7.9	4.2	2.2	7.1	5.0	10.2	6.6	14.6	6.2
※精密検査結果	胃がん	6	-	-	-	1	1	3	1
	早期胃がん（再掲）	5	-	-	-	1	1	2	1
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃潰瘍	10	1	1	-	-	2	2	3
	胃潰瘍癒痕	4	-	-	-	1	2	-	1
	十二指腸潰瘍	-	-	-	-	-	-	-	-
	十二指腸潰瘍癒痕	1	-	-	-	-	-	-	1
	粘膜下腫瘍	2	-	-	-	-	-	2	-
	胃ポリープ	18	-	-	-	1	1	5	7
	十二指腸ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-
	びらん性胃炎	3	-	-	-	-	1	1	-
	萎縮性胃炎	24	-	-	1	-	5	5	10
	慢性胃炎	26	1	-	1	2	5	4	9
	その他の胃炎	16	-	2	1	-	3	2	7
その他	10	-	-	1	1	2	2	3	
異常なし	12	-	1	-	2	1	2	3	
未受診者数	17	1	1	-	1	4	2	7	
精検受診者	132	2	4	4	7	23	26	47	
精検受診率	88.6	66.7	80.0	100	87.5	85.2	92.9	87.0	

※精密検査結果は重複あり

#### ④ 大腸がん検診

大腸がんは食生活の欧米化に伴い、近年増加傾向が著しい状況にある。しかし早期に発見し治療することで、死亡率を減少させることが可能な疾病である。本市では大腸がんの早期発見、早期治療に努め、また、がんに関する正しい知識の普及・啓発を図ることを目的に、平成2年度から老人保健法に基づいて大腸がん検診を実施し、平成5年度からは生活習慣病健診(基本健康診査)と併せて医療機関委託方式で実施している。平成10年度からがん検診が老人保健法に基づく健康診査から除かれたため、一般の疾病対策の一環として実施し、平成20年度からは健康増進法に基づいて実施している。また、平成23年度から国の「がん検診推進事業実施要綱」に基づき、40歳～60歳の5歳刻みの節目年齢者に無料クーポン券と検診手帳を送付し、受診促進を図っている。

検査方法は便潜血検査(免検便潜血検査2日法、OCセンサー方式)。検診料金は600円(ただし、70歳以上の人、生活保護世帯等または市民税非課税世帯、大津市国民健康保険被保険者は無料)。

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(平成26年5月31日現在)

(単位:人・%)

区 分	総数	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上			
		男	女	男	女	男	女	男	女		
対象者数	100,408	4,869	10,044	2,517	8,148	10,180	16,876	19,107	28,667		
受診者数	20,393	941	1,641	850	1,852	2,385	4,109	3,615	5,000		
検診受診率	20.3	19.3	16.3	33.8	22.7	23.4	24.3	18.9	17.4		
再掲	初回受診者	7,069	634	1,152	519	954	923	1,204	753	930	
	初回受診率	34.7	67.4	70.2	61.1	51.5	38.7	29.3	20.8	18.6	
異常なし	18,993	897	1,556	792	1,764	2,191	3,904	3,252	4,637		
要精検者数	1,400	44	85	58	88	194	205	363	363		
要精検率	6.9	4.7	5.2	6.8	4.8	8.1	5.0	10.0	7.3		
※精密検査結果	大腸がん	早期がん	22	-	1	-	-	5	2	12	2
		進行がん	27	-	-	-	-	7	3	10	7
		ポリープ内がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	11	-	-	-	1	1	3	4	2
	ポリープ	腺腫性	372	8	6	16	17	56	55	127	87
		過形成性	68	1	2	2	6	11	12	15	19
		その他	127	-	5	5	10	21	11	43	32
	潰瘍性大腸炎	6	2	-	-	-	1	1	1	1	
	クローン病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他炎症性腸疾患	3	1	-	-	1	1	-	-	-	
	憩室	113	1	1	5	4	12	15	40	35	
	痔核	172	7	12	6	16	22	31	34	44	
	胃の疾患	1	-	-	-	-	-	-	1	-	
	その他	34	4	2	1	1	2	5	10	9	
異常なし	168	6	25	5	17	12	41	24	38		
未受診者数	455	18	34	23	25	66	50	104	135		
精検受診者	945	26	51	35	63	128	155	259	228		
精検受診率	67.5	59.1	60.0	60.3	71.6	66.0	75.6	71.3	62.8		

※精密検査結果には重複あり

大腸がん発見率 0.29%

## ⑤ 肺がん検診

肺がんは現在、我が国のがん死亡の中で最も多く、その罹患率及び死亡率は年々増加しつつある。また、進行すると予後不良なため、早期発見によって速やかに治療を開始することが重要である。このため、本市では肺がんの早期発見、早期治療につなげるとともに、がんに関する正しい知識の普及・啓発を図ることを目的に、平成22年10月より健康増進法に基づき、医療機関委託方式で実施している。

検診料金は胸部エックス線検診500円、喀痰細胞診検査1,000円（対象者のみ）。ただし、70歳以上の人、生活保護世帯等または市民税非課税世帯者、大津市国民健康保険被保険者は無料。

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(平成26年5月31日現在)

(単位:人・%)

区 分	総数	40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		
		男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者数	100,408	4,869	10,044	2,517	8,148	10,180	16,876	19,107	28,667	
受診者総数	16,402	451	658	437	906	1,973	3,229	3,613	5,135	
検診受診率	16.3	9.3	6.6	17.4	11.1	19.4	19.1	18.9	17.9	
異常なし	15,249	436	638	401	878	1,838	3,051	3,285	4,722	
有所見者数	462	7	10	11	10	51	70	133	170	
要精検者数	691	8	10	25	18	84	108	195	243	
要精検率	4.2	1.8	1.5	5.7	2.0	4.3	3.3	5.4	4.7	
喀痰検査実施者	1,447	28	13	105	31	505	70	651	44	
喀痰検査実施率	8.8	6.2	2.0	24.0	3.4	25.6	2.2	18.0	0.9	
※精密検査結果	原発性肺がん	9	-	-	1	-	1	1	3	3
	転移性肺がん	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	その他のがん	3	-	-	-	1	-	1	-	1
	がんの疑い	22	-	-	1	2	3	2	9	5
	その他の肺腫瘍	17	-	1	-	-	1	5	5	5
	その他の肺病変	131	-	-	1	2	18	21	41	48
	肺結核症	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	60	-	1	3	-	4	11	20	21
異常なし	229	3	7	7	8	29	32	60	83	
未受診者数	219	5	1	12	5	28	34	57	77	
精検受診者	472	3	9	13	13	56	74	138	166	
精検受診率	68.3	37.5	90.0	52.0	72.2	66.7	68.5	70.8	68.3	

肺がん発見率 0.06%

## ⑥ 子宮頸がん検診

子宮頸がんは、早期治療を行えばほとんど治癒することから、早期発見が重要である。

平成 17 年度からの国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い対象年齢を 20 歳以上に変更し、2 年度に 1 回の受診となった。

平成 21 年度から国の緊急経済対策である「女性特有のがん検診推進事業」として、平成 23 年度からは「がん検診推進事業」として、20 歳から 40 歳までの 5 歳刻みの対象者に、無料クーポン券を配布し、受診の促進を図っている。

また、平成 23 年度からは、滋賀県内の医療機関で受診できるように県内 19 市町が集合契約を締結し、受診の機会を拡大した。平成 25 年度は、県内 70 登録医療機関で実施。

検診料金は 1,000 円（ただし、70 歳以上の人、生活保護世帯等または市民税非課税世帯の人、大津市国民健康保険被保険者は無料）。

年齢別検診結果及び精密検査受診結果(平成 26 年 5 月 31 日現在)

(単位：人・%)

区 分	総数	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	
対象者数	79,246	6,013	9,498	10,044	8,148	16,876	28,667	
受診者数	8,933	1,354	2,590	2,483	1,234	855	417	
受診率	21.9	46.5	53.9	47.5	28.4	9.5	2.5	
(参考) 前年度受診者数	8,585	1,464	2,624	2,363	1,081	746	307	
(参考) 無料クーポンによる連続受診者数	194	21	100	73	-	-	-	
初回受診者(再掲)	5,446	1,064	1,729	1,418	584	427	224	
初回受診率	61.0	78.6	66.8	57.1	47.3	49.9	53.7	
異常なし	8,726	1,321	2,505	2,429	1,212	850	409	
要精検	207	33	85	54	22	5	8	
要精検率	2.3	2.4	3.3	2.2	1.8	0.6	1.9	
精検受診者数	168	25	68	46	19	5	5	
精検未受診者	39	8	17	8	3	-	3	
精密検査結果内訳	上皮内がん	3	-	1	1	-	1	-
	浸潤がん	4	-	1	2	-	-	1
	異形成	111	22	48	27	9	2	3
	頸管炎	12	2	4	4	1	1	-
	膣炎	3	-	1	-	-	1	1
	子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-
	その他	9	-	6	2	1	-	-
特記病変なし	26	1	7	10	8	-	-	
がん発見率	0.08	0	0.08	0.12	0	0.12	0.24	

※ 受診率：子宮頸がん検診については、受診間隔が 2 年度に 1 回となるため、  
 (「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「無料クーポンによる連続受診者数」) /  
 (当該年度の対象者数) × 100 で算出する。

## ⑦ 乳がん検診

平成13年10月から、50歳以上の市民を対象に実施してきた視触診・マンモグラフィ併用法を、平成17年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、対象年齢を40歳以上に変更し、2年度に1回の受診となった。平成21年度から国の緊急経済対策である「女性特有のがん検診推進事業」として、平成23年度からは「がん検診推進事業」として、40歳から60歳までの5歳刻みの対象者に、無料クーポン券を配布し、受診の促進を図っている。

実施方法は委託医療機関（7医療機関）による個別検診と、会場を定めた集団検診（6回：5会場）を合わせて実施している。検診料金は、個別検診で40歳以上が1,800円、50歳以上が1,300円に、集団検診で40歳以上が1,500円、50歳以上が1,200円としている。ただし、70歳以上の人、生活保護世帯等または市民税非課税世帯、大津市国民健康保険被保険者は無料としている。

### 年齢別検診結果及び精密検査受診結果（平成26年5月31日現在）

（単位：人・％）

区 分		総計	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
全 体	対象者数	63,735	10,044	8,148	16,876	28,667		
	受診者数	4,694	1,769	1,448	1,139	338		
	受診率	14.3	34.3	33.4	13.5	2.3		
	(参考)前年度受診者数	4,605	1,760	1,355	1,170	320		
	(参考)無料クーポンによる連続受診者数	190	81	80	29	-		
	一次検診	精検不要	4,158	1,529	1,287	1,029	313	
		要精検	536	240	161	110	25	
	要精検率	11.4	13.6	11.1	9.7	7.4		
	精検受診数	476	210	146	97	23		
	精検受診率	88.8	87.5	90.7	88.2	92.0		
	精検結果	異常なし	240	93	77	59	11	
		乳腺症	121	64	37	16	4	
		線維腺腫	52	26	17	7	2	
		その他	37	23	6	8	-	
乳がん		26	4	9	7	6		
がん発見率		0.55	0.23	0.62	0.61	1.78		
視触診・マンモグラフィ併用	医療機関（個別検診）	受診者	総数	4,465	1,663	1,391	1,091	320
			初回(再掲)	2,915	1,274	902	618	121
			総数に占める初回受診者の割合	65.3	76.6	64.8	56.6	37.8
	一次検診	精検不要	3,957	1,436	1,239	986	296	
		要精検	508	227	152	105	24	
	要精検率	11.4	13.7	10.9	9.6	7.5		
	精検受診数	449	197	138	92	22		
	精検受診率	88.4	86.8	90.8	87.6	91.7		
	精検結果	乳がん	26	4	9	7	6	
		がん発見率	0.58	0.24	0.65	0.64	1.88	
	集団検診	受診者	総数	229	106	57	48	18
			初回(再掲)	140	78	28	24	10
			総数に占める初回受診者の割合	61.1	73.6	49.1	50.0	55.6
		一次検診	精検不要	201	93	48	43	17
要精検			28	13	9	5	1	
要精検率		12.2	12.3	15.8	10.4	5.6		
精検受診数		27	13	8	5	1		
精検受診率	96.4	100.0	88.9	100.0	100.0			
精検結果	乳がん	-	-	-	-	-		
	がん発見率	-	-	-	-	-		

※ 受診率：乳がん検診については、受診間隔が2年度に1回となるため、  
 （「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「無料クーポンによる連続受診者数」）／  
 （当該年度の対象者数）×100で算出する。

### ⑧ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

胃がん検診の受診率が低迷していることから、平成24年10月より、従来の胃がん検診に加え、補助的に胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。検診の結果に応じてバリウムによる胃がん検診あるいは、リスクの高い人には早期に精密検査（胃内視鏡検査）を受けていただくことで、胃がんによる死亡率を減少させることを目的に実施する。

対象者 4月1日において40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の市民

実施場所 市内登録医療機関において実施

実施機関 平成25年7月1日から平成26年3月31日まで

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

判定方法 検査値により、陽性（+）、陰性（-）でABC群に分類する。

A群 精密検査は不要とするが市の胃がん検診受診対象者

B群 精密検査（胃内視鏡検査）対象者

C群 精密検査（胃内視鏡検査）対象者

検診料金 1,300円（ただし、生活保護世帯等または市民税非課税世帯の人、その他特に市長が必要と認めた人、大津市国民健康保険被保険者は無料）

### 年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（平成26年5月31日現在）

（単位：人・％）

区分	総数	40歳		45歳		50歳		55歳		60歳		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
対象者	23,602	2,875	2,899	2,442	2,512	2,197	2,212	1,977	2,068	2,185	2,235	
受診者	3,166	239	511	222	373	196	427	175	364	268	391	
検診受診率	13.4	8.3	17.6	9.1	14.8	8.9	19.3	8.9	17.6	12.3	17.5	
検査結果	A群	2,318	196	408	174	308	144	307	118	255	175	233
	B群（精密検査対象）	468	28	58	36	37	32	66	34	52	50	75
	C群（精密検査対象）	380	15	45	12	28	20	54	23	57	43	83
精密検査結果	早期胃がん	4	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	進行胃がん	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	悪性リンパ腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	粘膜下腫瘍	4	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-
	胃潰瘍	36	2	3	2	1	3	6	7	4	4	4
	胃潰瘍癒痕	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	十二指腸潰瘍	5	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2
	十二指腸潰瘍癒痕	6	-	3	1	-	-	1	1	-	-	-
	萎縮性胃炎	494	24	67	23	41	28	80	33	60	40	98
	慢性胃炎	11	1	2	-	1	-	1	-	2	2	2
	その他の胃炎	18	1	5	1	2	1	1	2	3	1	1
	胃ポリープ	29	2	1	1	2	1	2	1	6	4	9
	十二指腸ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	18	1	2	-	2	-	3	3	-	2	5	
異常なし	7	-	3	1	1	-	-	-	-	1	1	
未受診者	291	16	25	23	20	20	34	15	41	46	51	
精検受診者	557	27	78	25	45	32	86	42	68	47	107	
精検受診率	65.7	62.8	75.7	52.1	69.2	61.5	71.7	73.7	62.4	50.5	67.7	

※精密検査結果は重複あり。

## (6) 訪問指導事業

療養上の保健指導が必要と認められる人及びその家族等に対して保健師等が家庭を訪問し、健康問題を総合的に把握し必要な指導を行い、心身機能の低下の予防と健康の保持増進を図ることを目的に実施している。

対象は、市内に居住地を有する 40 歳から 64 歳までの人で、その心身の状況、その置かれている環境等に照らして療養上の保健指導が必要であると認められる人や、閉じこもり予防の必要な人、介護家族者、その他（その他疾病、寝たきり、認知症）であり、対象者の把握、援助計画の策定、その他の訪問指導の円滑かつ効果的な実施を図るため、関係機関、民生委員その他の関係者及び主治医等関係医療機関等との連携を図り、必要な協力を得ている。

### ① 人数における訪問区分・すこやか別状況

(単位：人)

区 分	総数	和邇 すこやか	堅田 すこやか	比叡 すこやか	中 すこやか	膳所 すこやか	南 すこやか	瀬田 すこやか
総数	11	7	-	-	-	-	2	2
基本健康診査 要指導者	-	-	-	-	-	-	-	-
介護家族者	-	-	-	-	-	-	-	-
寝たきり者	1	1	-	-	-	-	-	-
閉じこもり予防	6	6	-	-	-	-	-	-
認知症予防	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	-	-	-	2	2

### ② 訪問指導従事者別実施状況

(単位：人)

従事者	保健師	歯科衛生士	あん摩マッサージ 指圧師・鍼師・灸師	栄養士
延人数	12	-	-	-

## (7) 結核予防事業

結核は、わが国最大の感染症であり、世界の先進国の中で日本は中蔓延国である。本市では、結核の早期発見を目的に、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 53 条第 2 項の規定に基づき、住民結核検診を実施している。平成 7 年度末、市保有の検診車の廃車に伴い、平成 8 年度から検診車による実施は業者委託とした。平成 14 年度からは、胃がん検診時に住民結核検診を併せて実施している。また、総合保健センターでの実施は平成 22 年度で終了した。

検診車により各学区市民センター及び自治会館等で実施しており、検診料金は無料。

(単位：人・%)

区 分	総数	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80 歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女
受診者総数	1,373	137	242	180	232	157	161	113	151
異常なし	1,015	111	191	129	181	111	132	63	97
有所見者数	297	23	37	45	44	39	27	39	43
要精検者数	61	3	14	6	7	7	2	11	11
要精検率	4.4	2.2	5.8	3.3	3.0	4.5	1.2	9.7	7.3
※精密 検査 結果	肺結核	-	-	-	-	-	-	-	-
	腫瘍	11	2	-	-	1	-	2	3
	じん肺	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の肺・胸 膜・縦隔異常	19	-	6	1	3	4	-	3
	その他	27	1	6	5	2	2	1	5
未受診者数	4	-	2	-	-	-	1	1	1
精検受診者	57	3	12	6	7	7	1	10	10
精検受診率	93.4	100.0	85.7	100.0	100.0	100.0	50.0	90.9	90.9